（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　あんプラス江戸川橋			
○保護者評価実施期間	2026年　10月　1日	～	2026年　10月　14日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	
○従業者評価実施期間	2026年　10月　1日	～	2026年　10月　14日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　10月　23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心して通所できる場所になっていること。	日ごろから児童に対して肯定的な声かけを行い、児童の自己肯定感が育まれるよう努めている。また、悩み事や困りごとについては気軽に相談できるような環境づくり行っている。通所を開始したばかりの児童や、コミュニケーションに課題がある児童についてはスタッフが傍につく等して、皆が安心して活動に参加できるようにしている。	児童や保護者からの様々な相談ごとに対応できるよう、チームアプローチを実施していく。また、児童の心境や言動の小さな変化にも気を配り、適切な対応がとれるようミーティング等での情報共有を一層積極的に行っていく。
2	各児童の状況に応じた支援を実施していること。	平日はマンツーマンでの支援ができるよう職員を配置しており、各児童の課題を踏まえてそれぞれに必要な支援を行っている。土曜・祝日・長期休みに関しても、一日に複数のプログラムを設定し、選択できるようにするなどして、各児童が取り組みたい活動にチャレンジできるような日を設けるようにしている。	全ての職員が各児童に対しての共通認識を持って支援できるよう、毎日のミーティングの実施や、記録の整備・回覧を行っていく。
3	多くの児童が参加したいと思えるような、多様なプログラムを実施していること。	平日の個別課題だけでなく、土曜日・祝日・長期休みにイベントを実施している。お出かけやスポーツ、調理、レク等、児童の要望も聞きながら様々なプログラムを設定し、より多くの児童が参加したいと思えるようにしている。	他教室と合同で活動するイベントを増やしていき、児童が様々な人とかかわる経験を積むことができるようにしていく。また、スポーツや調理・工作等の活動を通じて、チームワークや上達する喜び、最後までやり遂げる忍耐力等を獲得できるように工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流など、家族・きょうだいへの支援が十分ではない。	現状父母の会設立や、保護者同士の交流を望む声をあまりいただいておらず、家族やきょうだい向けのイベントなども企画するに至っていない。	保護者や児童の要望を聞き、家族・兄弟で参加可能なイベントや、保護者向けの会、研修会等の開催希望が出てきた場合には、実施を検討していく。
2	放課後児童クラブや児童館、地域の他のこどもとの交流の機会が少ない。	放課後児童クラブや児童館との接点が現状ないことと、他事業所とのかかわりを求めていないとのご意見があったことから、今まで積極的に実施してこなかった。	お祭り等の地域行事等を通じて、地域のこどもと交流することも今後検討していく。
3	ペアレントトレーニングや家族等も参加できる研修会、情報提供などの家族支援プログラムが行われていない。	保護者向けの講演会、研修等の実施を希望するご意見があまりなく、今年も実施に至らなかった。	ご家族が必要とする情報に関しては、面談等で随時提供するようにしている他、ご相談についてはいつでもお受けできる体制を整えている。今後も必要な情報提供を欠かさず実施していくとともに、家族支援プログラムの充実を目指していく。